

CBC NEWS LETTER

Vol.4, No.1, Oct.2003

小樽商科大学ビジネス創造センター



ニュースレター [Vol.4 No.1]

I N D E X

1. 株式会社 ヒューマン・キャピタル・マネジメント(HCM)の紹介
2. インタラクティブ・ビジネス・ワークショップ(IBW)の開催
3. 観光クラスター研究会「小樽ゆらぎの里」の活動
4. 平成15年度CBC高度技術研修を開催
5. CBC主要日誌
6. 投稿案内

1

株式会社 ヒューマン・キャピタル・マネジメント(HCM)の紹介

代表取締役CEO 土井 尚人氏
(小樽商科大学大学院在学中)

HCM社は、山田家正小樽商科大学前学長に顧問にご就任いただき、02年7月に設立したベンチャー企業です。北海道には素晴らしい農産物、水産物、観光資源、技術などのモノがあります。地域を支える金融機関もあり、モノとカネは揃いつつあります。そうした「良い」環境の中でビジネスを創造するために活動しております。

① インキュベーション(孵化)事業

HCM本社に併設するインキュベーションセンター内の5つのブースには、新会社立ち上げや新事業を開始する企業が入居しております。ブース入居企業以外でも、新会社立ち上げ時や新事業進出時に経営支援を行うプログラムを用意し、新事業展開の成功率アップに向けて、経営計画作成支援や資金調達支援、マーケット構築支援を行っております。CBCが大学発ベンチャー設立に多大な実績をあげていますが、HCMもCBCとも一部連携し、北海道大学の先生方が起業された大学発ベンチャー3社の立ち上げ支援を行っております。また、市、商工会議所などが主催する起業家セミナーの講師活動も行っております。

② 経営人材育成事業

「経営の原理原則・セオリーを学び、実践を通して企業変革を実現できる経営人材、幹部の育成」を目的とした講座や研修を実施しております。理論を学び幅広い視点から深く考えるフレームを提供すると同時に、現場で実践に生きる「成果」を明確にした深く学ぶ講座を実施しております。学んだことは自社に置き換えることが出来、すぐに現場で活用できるように工夫した少人数講座です。明日の北海道を支える経営人材の育成を行っております。地域金融機関とも連携し経営塾の企画や講師活動も行っており、CBCからは講師派遣協力もいただいております。

③ 経営支援事業

組織変革、資本政策、人事制度構築などのコンサルティング、企業研修活動も行っております。
(HCM社のホームページは<http://www.hcm.ne.jp/>)

2

インタラクティブ・ビジネス・ワークショップ (IBW) の開催

第1回インタラクティブ・ビジネス・ワークショップは、2003年7月26日に本学札幌サテライト6階ホールにおいて「戦略的技術経営」をテーマに下記の要領で開催されました。第2回は10月11日(土)に斎藤亜氏(トイザラス・ドット・コム ジャパン(株) マーケティングディレクター)を講師にお招きして、「マーケティング」をテーマに道銀ビル12階会議室において開催されます。本ワークショップは、あらかじめ指定されたケーススタディの資料を読んできておき、ワークショップ開催当日には与えられた課題について討論する形式で進められます。今後は、毎月1回開催する予定です。ワークショップ開催の案内はCBCホームページ<http://www.otaru-uc.ac.jp/cbc/sub11.htm>に掲載されています。



第1回インタラクティブ・ビジネス・ワークショップ

テーマ:「戦略的技術経営」

講師:林 幹浩(CBC産学連携コーディネーター)

ケース:「巨象も踊る」ルイス・ガースナー著, 山岡洋一・高遠裕子訳, 日本経済新聞社
 (“Who Says Elephants Can't Dance?” Louis V. Gerstner, Jr., 2002)

課題:

- 1) ガースナーがIBMのCEOとして行ったことのなかで、最も重要であったことは何か。
- 2) IBMは、まぎれもなくハイテク企業であると考えられているが、ガースナーが行った「技術経営」はいかなるものであったか、また、それは成功したと言えるか。

3

観光クラスター研究会「小樽ゆらぎの里」の活動

CBC情報資料部主任(社会情報学科・教授) 奥田 和重

小樽の地場産業の振興を目的に平成11年12月に設立された「小樽地場産業振興会議」において朝里川温泉地区の振興策が取り上げられ、平成12年5月に「朝里川温泉地区振興ワーキンググループ」が発足しました。このワーキンググループで、多様な視点から自由な討議がなされた結果、様々なアイデアが出されました。このようなワーキンググループの活動をもとに平成13年5月に本研究会が朝里川温泉地区の産業振興をはかることを目的に発足し、地域の資源を活かした地域活性化について研究を進め

てきました。

本研究会は、朝里川温泉地区の観光事業者やまちづくり団体、小樽市内の企業経営者、小樽商科大学、商工会議所、行政機関などによる産学官連携のもとに活動を行い、15回の研究会と2回の総会を開催しています。活動としては9回11名の講師による「セミナー及び講演会等」の開催、小樽商科大学ビジネス創造センターとの共同研究による「朝里川温泉イメージ調査(CS調査)」の実施、大分県由布院温泉などの先進地視察、地酒・ハーブワインの開発などの「朝里川温泉ブランドの開発(試作及び実験)」、ゆらぎの里秋の収穫祭での職人体験工房の実験などを行ってきました。平成15年度は広報・広域ネットワーク部会、快適空間づくり部会、朝里川温泉地域ブランド創出部会が活動しており、講演会・ワークショップの開催、地域ブランド商品の開発などを活発に行っています。

4

平成15年度C B C 高度技術研修を開催

平成15年度の高度技術研修を9月14日(日)に本学札幌サテライト6階ホールにおいて下記のテーマ・講師で開催しました。



1. 大学発V Bと役員法務の基本
下川哲央(小樽商科大学C B Cセンター長・教授)
2. 研究成果の知財化および特許戦略について
山本秀策(山本秀策特許事務所長、弁理士)
3. 会社設立、兼業役員、ビジネス設計、公的資金活用について
守内哲也(北海道大学教授)
4. 設立とインキュベーションについて
土井尚人((株)ヒューマン・キャピタル・マネジメント代表取締役CEO)
5. 経営および株式公開について
井出 剛((株)トランスジェニック代表取締役社長)
6. 上場市場(マザーズ)について
嵯峨錠二(東京証券取引所審査部調査役)
7. 全体討論
瀬戸 篤(小樽商科大学C B C副センター長・助教授)

5

CBC主要日誌

CBC運営委員会	主任会議
3月19日(水)持ち回り 議題:平成15年度CBC学外協力スタッフおよび客員研究員の委嘱について	3月11日
4月21日(月) 議題:1.平成16年度概算要求書および平成15年度学内配分予算所要額調の提出について 2.平成15年度CBC運営会議の定期開催日について 報告:5件	4月 7日
5月26日(月) 議題:なし 報告:4件	5月12日
6月16日(月) 議題:なし 報告:5件	6月 2日
7月28日(月) 議題:1.平成15年度CBC高度技術研修について 2.共同研究、受託研究に係わる研究契約について 報告:6件	7月 7日
10月	10月 6日

6

投稿案内

ニュースレターはCBCに関する情報をタイムリーに開示するだけでなく、CBC関係者相互の情報交換の場でもあります。CBC関係各位の積極的な投稿をお待ちしています。

投稿、問い合わせはEメールにてお願いします。投稿は随時受け付けておりますが、投稿原稿の採否、掲載号の決定はCBC情報資料部に御一任ください。

○ 投稿先 小樽商科大学ビジネス創造センター情報資料部(奥田和重)

Eメール: okuda@res.otaru-uc.ac.jp

編集後記

このたび小樽商科大学ビジネス創造センター(CBC)のニュースレターVol.4, No.1を発行することができました。これも関係各機関・各位のご協力の賜であります。本号では、本学社会人大学院在学中の土井尚人氏が設立しました(株)ヒューマン・キャピタル・マネジメントの紹介、インタラクティブ・ビジネス・ワークショップの開催、平成15年度高度技術研修、並びにCBCも共同研究協力をした「観光クラスター研究会」の活動を取り上げました。CBCでは今後とも高度技術研修やエグゼティブ・プログラムなどの開催を予定しています。より充実したニュースレターにするために今後ともみなさまのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(情報資料部)

小樽商科大学ビジネス創造センター(CBC)
〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号
事務室 TEL 0134-27-5290
FAX 0134-27-5293
メールアドレス cbc@office.otaru-uc.ac.jp
ホームページ http://www.otaru-uc.ac.jp/cbc/